



CHAPTER 3

Cisco Unity Connection 8.x サーバへの追加言語のインストール

この章は、次の項で構成されています。

- 「Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード」 (P.3-1)
- 「Connection 8.x 言語ファイルのインストール」 (P.3-3)

Connection 8.x 言語ファイルのダウンロード



(注)

この項は、新しい Connection サーバをインストールする際の追加言語のインストールに適用されます。既存の Connection サーバに言語を追加するには、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrux.html の『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Adding or Removing Cisco Unity Connection 8.x Languages](#)」の章を参照してください。手順が異なります。

Connection 8.x 言語ファイルをダウンロードするには

- ステップ 1** 高速インターネット接続のコンピュータで、<http://tools.cisco.com/support/downloads/pub/Redirect.x?mdfid=278875240> の音声とユニファイド コミュニケーションのダウンロード ページにアクセスします。



(注) ソフトウェア ダウンロード ページにアクセスするには、Cisco.com に登録ユーザとしてサインインする必要があります。

- ステップ 2** [ダウンロード (Downloads)] ページのツリー コントロールで、[統合された通信アプリケーション (Unified Communications Applications)] > [ボイスメールと統合されたメッセージ (Voicemail and Unified Messaging)] > [Cisco Unity Connection] の順に展開し、該当する Connection のバージョンを選択します。
- ステップ 3** [ソフトウェアの種類を選択 (Select a Software Type)] ページで、[Cisco Unity Connection ロケール インストーラ (Locale Installer)] を選択します。
- ステップ 4** [リリースの選択 (Select a Release)] ページで、該当する Connection のバージョンを選択します。ページの右側に、言語のダウンロード リンクが表示されます。
- ステップ 5** ご使用のコンピュータに、ダウンロードしたファイルに十分なハードディスク領域があることを確認します (ダウンロード ファイルのサイズは、ダウンロード リンクの下に表示されます)。

各言語のファイル名は、uc-locale-<2 文字の言語の略称>_<2 文字の国の略称>-<バージョン>.cop.sgn です。

- ステップ 6** ダウンロードするファイルの名前を選択します。
- ステップ 7** [イメージのダウンロード (Download Image)] ページで、MD5 の値を書き留めます。
- ステップ 8** 画面上のプロンプトに従って、ダウンロードを完了します。
- ステップ 9** インストールする Connection の各言語に対して、**ステップ 6** から**ステップ 8** を繰り返します。
- ステップ 10** ダウンロードした各ファイルに対して、チェックサム ジェネレータを使用して MD5 チェックサムが Cisco.com に記載されているチェックサムと一致していることを確認します。値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルは破損しています。

**注意**

破損したファイルをソフトウェアのインストールに使用しないでください。予測不可能な結果を招きます。MD5 の値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルの値が Cisco.com に記載されている値と一致するまでファイルを再度ダウンロードします。

インターネットでは、Microsoft File Checksum Integrity Verifier ユーティリティなど、無料のチェックサム ツールを利用できます。ユーティリティについては、Microsoft サポート技術情報の記事 841290 『Availability and Description of the File Checksum Integrity Verifier Utility』に記載されています。このサポート技術情報の記事には、ユーティリティをダウンロードできるリンクも記載されています。

- ステップ 11** ダウンロードしたファイルを FTP または SFTP サーバにコピーするか、ファイルを CD または DVD に焼き付けます。ファイルのディスクを焼き付ける場合は、次の考慮事項に注意してください。
- 最大 64 文字のファイル名に対応する Joliet ファイル システムを使用します。
 - ご使用のディスク焼き付けアプリケーションに、焼き付けたディスクの内容を確認するオプションがある場合は、そのオプションを選択します。これにより、アプリケーションは焼き付けたディスクの内容をソース ファイルと比較します。
 - ディスクに「Cisco Unity Connection <バージョン> Languages」とラベルを付けます。
- ステップ 12** ダウンロードしたファイルを削除し、ディスク領域を使えるようにします。

Connection 8.x 言語ファイルのインストール



(注)

この項は、新しい Connection サーバをインストールする際の追加言語のインストールに適用されます。既存の Connection サーバに言語を追加するには、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/upgrade/guide/8xcucrugx.html の『*Reconfiguration and Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Adding or Removing Cisco Unity Connection 8.x Languages](#)」の章を参照してください。手順が異なります。

Cisco Unity Connection の言語（ロケールとしても知られる）は、国別のシステム プロンプト、グラフィカル ユーザ インターフェイス、および音声入力機能を提供します。言語ファイルのインストールは、Connection サーバで CD または DVD を使用するか、リモート ソースからファイルにアクセスするかのいずれかで行えます。詳細については、次の該当する項を参照してください。

- 「[Connection 8.x 言語ファイルのディスクからのインストール](#)」(P.3-3)
- 「[ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイルのインストール](#)」(P.3-4)



(注)

言語はライセンスされていません。また、Connection 8.x でインストールや使用が可能な言語の数に制限はありません。ただし、より多くの言語をインストールすると、ボイス メッセージを保存できるハードディスク領域が少なくなります。『*Cisco Unity Connection 8.x Supported Platforms List*』(http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/8x/supported_platforms/8xcucspl.html) の各サーバで利用できる領域の記録に関する情報では、インストール済みの言語は 5 つ以下と想定しています。

Connection 8.x 言語ファイルのディスクからのインストール

Connection 8.x 言語ファイルをディスクからインストールするには

- ステップ 1** 次のように Connection Conversation Manager サービスと Connection Mixer サービスを停止します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
 - b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
 - c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] 行で [停止 (Stop)] を選択します。
 - d. サービスが停止するまで待ちます。
 - e. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] 行で [停止 (Stop)] を選択します。
 - f. サービスが停止するまで待ちます。
- ステップ 2** ディスク ドライブに Languages ディスクを挿入します。
- ステップ 3** Cisco Unified Operating System Administration にサインインします。
- ステップ 4** [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。[ソフトウェア インストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 5** [ソース (Source)] リストで [DVD/CD] を選択します。

- ステップ 6** [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、CD または DVD の言語ファイルを含むフォルダへのパスを入力します。
- 言語ファイルがルート フォルダにあるか、ISO イメージ DVD を作成した場合は、[ディレクトリ (Directory)] フィールドにスラッシュ (/) を入力します。
- ステップ 7** 言語のインストール プロセスを続行するには、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 8** インストールする言語を選択し、[次へ (Next)] を選択します。
- ステップ 9** ダウンロードの経過表示をモニタします。
- ステップ 10** 別の言語をインストールする場合 : [別の言語をインストール (Install Another)] を選択し、**ステップ 4** から **ステップ 9** を繰り返します。
- 言語のインストールを終了する場合 : 次のようにサービスを再起動します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
 - b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
 - c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] 行で [開始 (Start)] を選択します。
 - d. サービスが開始するまで待ちます。
 - e. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] 行で [開始 (Start)] を選択します。
 - f. サービスが開始するまで待ちます。
 - g. 日本語をインストールした場合 : CLI コマンド「**utils service restart Cisco Tomcat**」を実行して、Tomcat サービスを再起動します。

ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイルのインストール

この手順では、Cisco Unified Operating System Administration にアクセス中に [更新 (Refresh)] や [再読み込み (Reload)] などの Web ブラウザ ボタンを使用しないでください。代わりに、管理インターフェイスのナビゲーション ボタンを使用してください。

ネットワーク ロケーションまたはリモート サーバからの Connection 8.x 言語ファイルのインストール

- ステップ 1** 次のように Connection Conversation Manager サービスと Connection Mixer サービスを停止します。
- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
 - b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
 - c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] 行で [停止 (Stop)] を選択します。
 - d. サービスが停止するまで待ちます。
 - e. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] 行で [停止 (Stop)] を選択します。
 - f. サービスが停止するまで待ちます。
- ステップ 2** Cisco Unified Operating System Administration にサインインします。

ステップ 3 [ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューから、[インストール/アップグレード (Install/Upgrade)] を選択します。[ソフトウェア インストール/アップグレード (Software Installation/Upgrade)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 [ソース (Source)] リストで [リモート ファイルシステム (Remote Filesystem)] を選択します。

ステップ 5 [ディレクトリ (Directory)] フィールドに、リモート システムの言語ファイルを含むフォルダへのパスを入力します。

言語ファイルが Linux または Unix サーバにある場合は、フォルダ パスの先頭にスラッシュ (/) を入力します (たとえば、言語ファイルが languages フォルダにある場合は、/languages と入力する必要があります)。

言語ファイルが Windows サーバにある場合は、FTP または SFTP サーバに接続していることを確認してください。次の適切な構文を使用します。

- パスの先頭はスラッシュ (/) で始め、パス全体でスラッシュを使用します。
- パスはサーバの FTP または SFTP ルート フォルダで始める必要があります。「C:」などのドライブ レターで始まる Windows 絶対パスは入力できません。

ステップ 6 [サーバ (Server)] フィールドにサーバ名または IP アドレスを入力します。

ステップ 7 [ユーザ名 (Username)] フィールドにリモート サーバのユーザ名を入力します。

ステップ 8 [ユーザ パスワード (User Password)] フィールドにリモート サーバのパスワードを入力します。

ステップ 9 [転送プロトコル (Transfer Protocol)] リストで適切なオプションを選択します。

ステップ 10 [次へ (Next)] を選択します。

ステップ 11 インストールする言語を選択し、[次へ (Next)] を選択します。

ステップ 12 ダウンロードの経過表示をモニタします。

インストール プロセス中にサーバとの接続が切れたりブラウザを閉じた場合は、[ソフトウェア アップグレード (Software Upgrades)] メニューに再度アクセスを試みた際に次のメッセージが表示される場合があります。

警告 : 別のセッションがソフトウェアをインストール中です。[コントロールを引き継ぐ (Assume Control)] をクリックしてインストールを引き継いでください。

セッションを引き継ぐ場合は、[コントロールを引き継ぐ (Assume Control)] を選択します。

[コントロールを引き継ぐ (Assume Control)] が表示されない場合は、Real-Time Monitoring Tool で言語のインストールをモニタすることもできます。

ステップ 13 別の言語をインストールする場合 : [別の言語をインストール (Install Another)] を選択し、[ステップ 3](#) から [ステップ 12](#) を繰り返します。

言語のインストールを終了する場合 : 次のようにサービスを再起動します。

- a. Cisco Unity Connection Serviceability を起動します。
- b. [ツール (Tools)] メニューから [サービス管理 (Service Management)] を選択します。
- c. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Conversation Manager] 行で [開始 (Start)] を選択します。
- d. サービスが開始するまで待ちます。
- e. [重要なサービス (Critical Services)] の [Connection Mixer] 行で [開始 (Start)] を選択します。
- f. サービスが開始するまで待ちます。
- g. 日本語をインストールした場合 : CLI コマンド「**utils service restart Cisco Tomcat**」を実行して、Tomcat サービスを再起動します。

